

むろかまち ～雪をミカタに～

日本の国土の 51%を占めるとされる豪雪地帯。雪国の人々にとって毎年降り続ける雪はやっかいなモノ以外の何モノでもない。特に中山間部の集落は高齢化で、除雪もままならない所も多い。降雪量によって増減する自治体の除雪費用もばかにならないだろう。しかし、雪は本当に除雪して捨てるだけの、やっかいで無用のモノなのか・・・、雪のプラスの面も考える必要があるのではないのか。おそらくその答えを1番よく知っているのは雪国の人々だろう。そこで「雪に親しみ、利用する」という発想で過去をのぞくと、実に人々は雪をうまく利用していたことがわかる。先人たちの築いてきた雪との共存の仕方を昇華することで地域経済の発展につなげ、これからの雪国の生活にコミットするチャンスである。

●Concept

現在日本では、少子高齢化や都市部への人口流出などにより、地方の若者不足が進んでいる。それにより農業などの仕事では後継者不足に悩まされている。そこで今回の提案では、まちなかでコミュニティや産業を再考し、若者が居続けなくなる、戻って来なくなるまちづくりを目指す。

雪への様々な付き合い方が相互作用することで、人と人の関わりを取り戻すことが出来ると考えた。かつて冷蔵庫の無い時代に造られていたものとして、「雪室」というモノがある。これを市の中心部から南魚沼市全体に波及させていく。このまち全体に広がっていく「雪室」に様々な機能を持たせることで、各地域の中のコミュニティを取り戻し、産業の質を向上できる。

●Problem

暮らしの視点

六日町商店街は様々なお店が出店している。しかし歩道と歩道の距離が遠すぎて歩いて渡りにくくなっている。さらに電車やバスの本数が少なく車が主な交通手段になっていて駅に向かう車の行き気も多いので余計に反対側のお店に行くことが困難な状況になっている。そのため利用者が限られている。

また電車は1時間に1本ほどしか出ていないので電車が来るまで待っている場所が必要である。現状では図書館しかない。なので車と人がうまく共存できる事と人が主役になるまちづくりをしていきたい。

環境の視点

新潟県南魚沼市は日本有数の豪雪地帯である。そのため冬になると雪下ろしや雪の処理にいつも苦労している。また高齢化の進む街で毎日の雪下ろしにはとても重労働であり、地域住民の大きな負担になっている。

しかし昔は洞窟などに雪をためて今という冷蔵庫のような活用方法があった。その雪は夏でも残っていたので十分食べ物を冷やすことができていたようです。

このように今では邪魔なものになっている雪をうまく利用することができれば冬でも少し過ごしやすくなる可能性がある。

防災の視点

日本は世界的に見ても地震大国である。新潟県だけで見ても1964年に新潟地震、2004年に新潟県中越地震、2007年新潟県中越沖地震が発生している。地震が起きるたびに電気、水道、ガスなどが止まり人々はとても苦労する。

その中でも食事は一番の問題点である。今ではさまざまな非常食がある。しかし備蓄されている主な非常食は乾パンなどのすぐに食べられる物が多い。災害時はいつも食べている「家庭の味」とは全く違う食べ物を食べることになってしまっている。災害中でも日常的な食べ物を食べることができれば人々は少し前向きな気持ちになれるのではないのか。そのことから備蓄倉庫の在り方について検討していきたい。



●Diagram

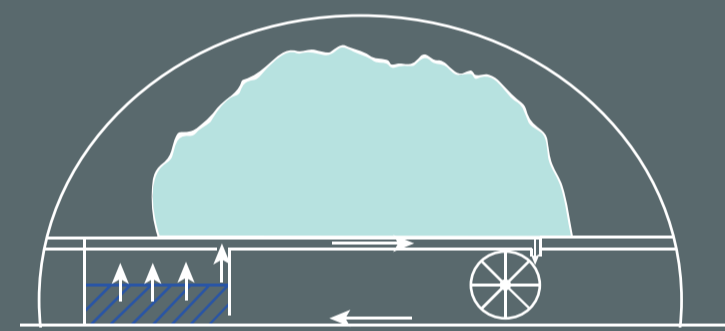
雪室ネットワーク構想



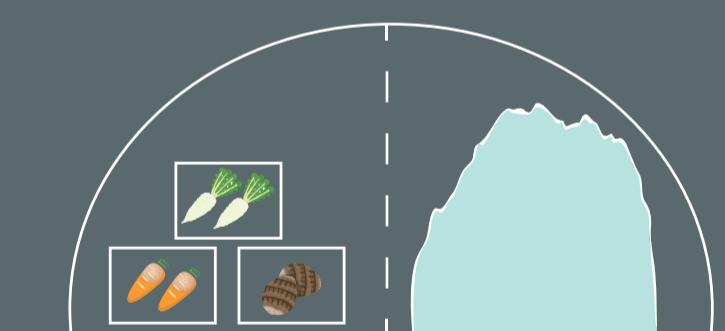
南魚沼市全体をみると六日町周辺に主要な公共施設などの機能が偏りがちで、山間部の方はまるで別の市であるかようになってしまう。また山間部は隣家との距離も広く、ご近所付き合いも薄れる。そこで拠点となる各機能の雪室の維持管理を地域住民が行うことでそこでのコミュニケーションも増える。そして中心地から山間部へ市全体に各拠点同士が繋がりが合うまちづくりを考えた。

雪室の中身

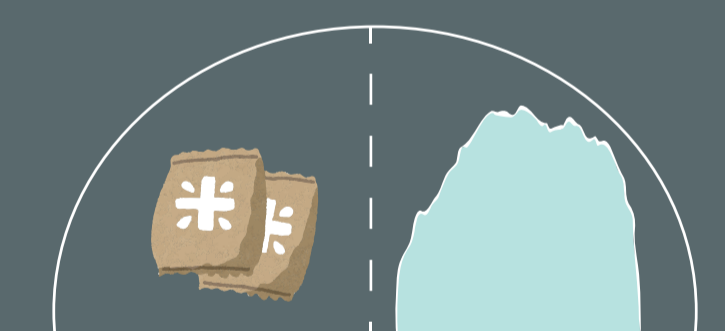
六日町を中心とした南魚沼市内に波及していく「雪室」には、大きく貯蔵・防災・発電・空調といった4つの機能を持たすことが出来る。これが地域の中で維持管理され、運用されていく。



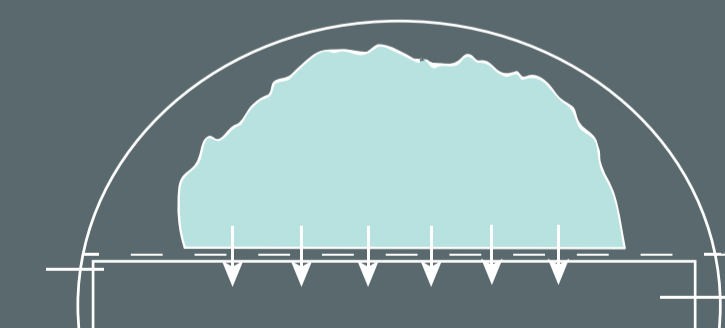
雪発電 雪の冷気で温度差をつくり発電。駅前広場の雪室から各家々に電力を送る。目に見えないネットワークの繋がりが。



備蓄倉庫 各地域ごとに備蓄倉庫機能を持った雪室を広場に置くことで災害時などには避難所の拠点として地域をつなぐ。

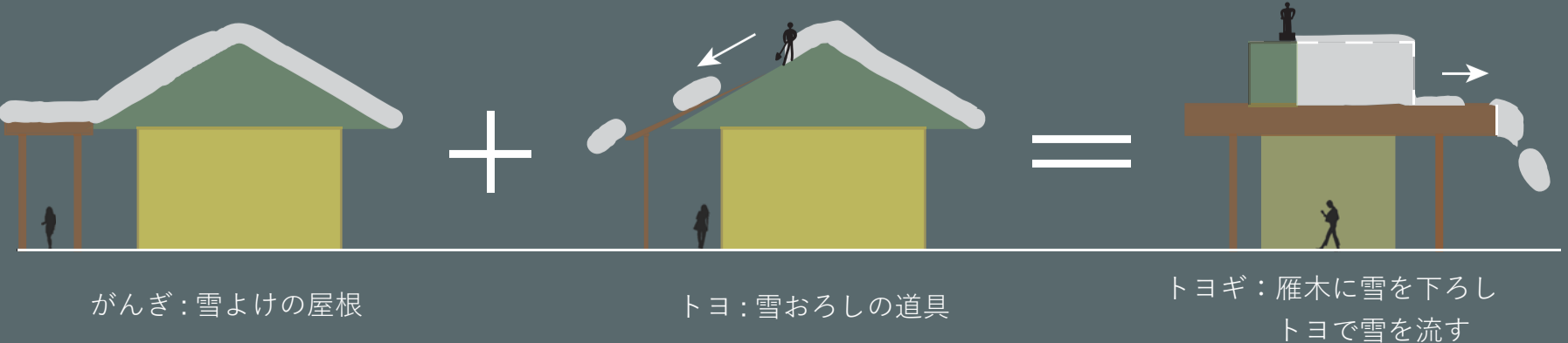


米蔵 南魚沼市で生産したお米を雪室で成熟させ、南魚沼市のブランド米として売り出す。

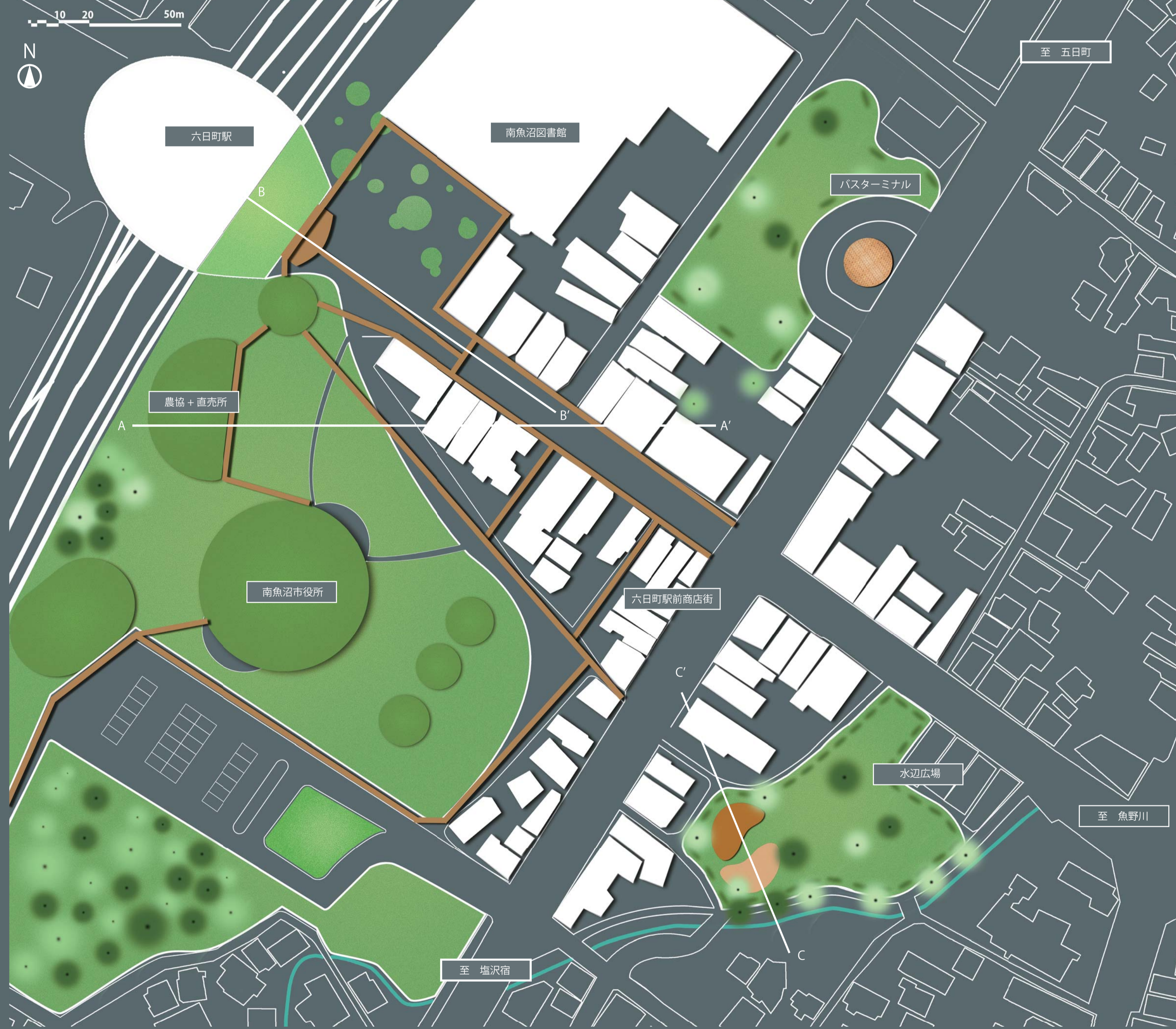


雪冷房 雪の冷気を使い夏の冷房をまかなう。市役所や図書館、地区の主な公共施設の冷房をまかなう。

商店街の雪の流れ



●Plan



●Section

